



# 世界で通用する サプライチェーン マネジメントの 国際資格を取る

## グローバルSCMの国際資格APICS

業務知識の  
整理に

キャリア  
アップに

ビジネス  
英語学習に

APICSとは、1957年に米国・シカゴで設立され、全世界100か国以上で地域パートナーを持つ世界最大の団体 ASCM (Association for Supply Chain Management) が主催する教育と資格認定です。SCM (サプライチェーン・マネジメント) に関する専門家団体 (Professional Association) として、世界最大の団体であり、事実上のグローバルスタンダードです。

APICSが認定するSCMの国際資格CPIM、CSCPおよびCLTDは、最も権威のある資格 (certification) として認知されており、資格保有者はSCMのプロフェッショナルとして世界中で高く評価されており、コミュニティもあります。CPIMは全世界で11万人以上、CSCPは3万人以上、CLTDは2000人が有資格者として登録されています (資格保証 (endorsement) であるSCOR-Pは2000人)。

公益財団法人日本生産性本部では、2011年以来、APICSの日本代表機関となり、現在もプレミアム・チャネル・パートナーとして、国際的なサプライチェーン・マネジメント資格であるAPICS認定試験を普及しています。

<http://apics.jp>



# 業種を問わずこのような方にお勧めします

- 需要予測、生産計画、在庫管理、S&OPに携わる方
- 複数部門間にわたる生産・在庫の統合的管理を行う方
- 海外と購買・調達マネジメントや統合に携わる方
- 受発注システムやERPのシステム構築やその支援を行う方
- グローバル企業への就職を希望する学生、キャリアアップを目指す方

## 4種類の資格

	CPIM	CSCP	CLTD	SCOR-P
名称	Certified in Planning and Inventory Management	Certified Supply Chain Professional	Certified in Logistics, Transportation and Distribution	Supply Chain Operations Reference-Professional
種類	認定資格 (Certification)	認定資格 (Certification)	認定資格 (Certification)	資格保証 (Endorsement)
内容	企業内のグローバルオペレーションにおける生産/在庫管理の理解と評価の能力を持っている	広域のサプライチェーンにおける円滑な運用を実現出来る知識と能力を持っている	企業におけるグローバルなロジスティクスと輸配送を理解し評価出来る能力を持っている	SCORモデルをもちいて、グローバルなサプライチェーンのパフォーマンスを評価しマネジメントする能力を有する
中心的領域	企業内のオペレーション	広域のサプライチェーン	グローバルなロジスティクスと輸配送	SCORモデルによる記述とKPI
受験資格		3年以上の経験あるいは学士資格あるいはCPIM等		5年以上の経験が望ましい。SCOR-P研修受講が必要

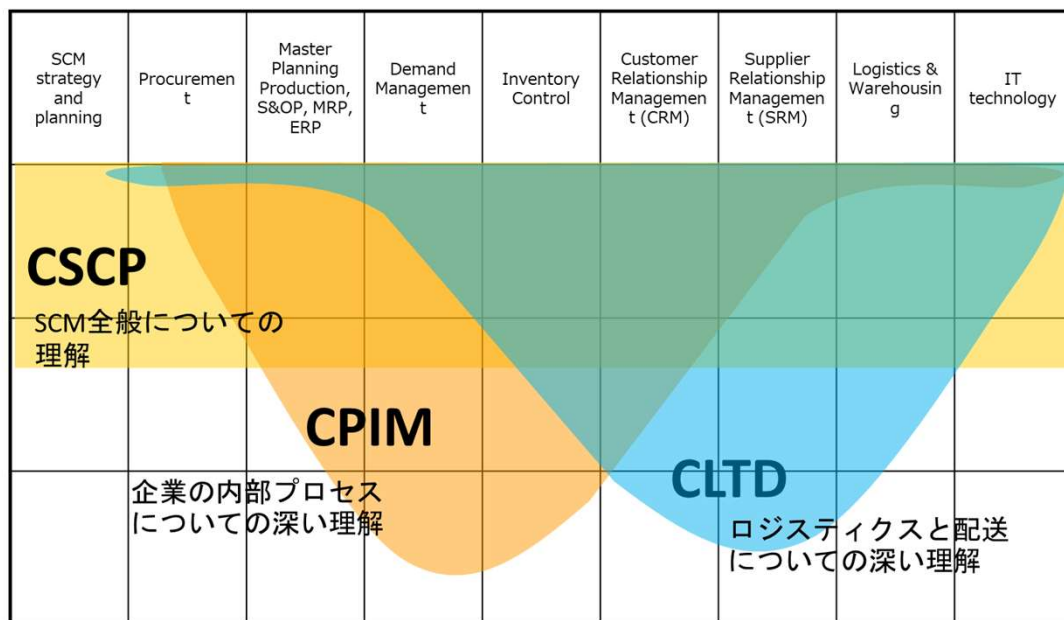
## 資格取得によるメリット

### 【個人】

- 断片的に経験してきたサプライチェーンマネジメントの業務知識を、体系的に整理したり理解することができます。
- サプライチェーンマネジメントの専門職として、海外の関係先から高い評価が得られます。
- ビジネスや実務での英語を学ぶことになり、業務で活用できます。
- グローバルスタンダードの知識体系や専門用語を用いることで、海外工場や海外拠点、取引先など、関係先とのコミュニケーションが円滑になります。
- 世界中に広がるAPICSのコミュニティを活用することで、多国間オペレーションに携わる専門家とのネットワークを構築できます。

### 【企業】

- 多国間で同じフレームワーク、教育体系を共通言語とすることにより、ビジネスコミュニケーションの効率が向上し、顧客満足と生産性向上を実現します。
- 認定資格を採用条件や昇格条件にすることにより、人材のレベル合わせができます。
- 従業員に資格取得を推奨・女性することで、サプライチェーンマネジメントに携わる人材の育成と動機付けを促します。
- 業務で利用するERPの背後にあるフレームワークを理解することによりERPの活用が進みます。



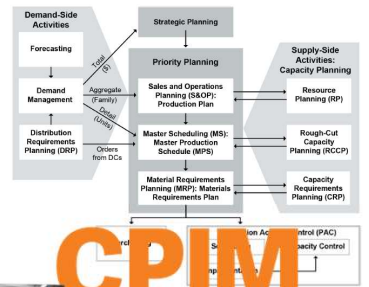
## APICSを活用しているグローバル企業（一部）

The Boeing Company / Schaeffler AG / Johnson & Johnson / 3M Manufacturing and Supply Chain / Alibaba Group / AT&T Mobility / BASF / Becton Dickinson and Co. / Briggs and Stratton Corporation / E. I. DuPont De Nemours And Co / Intel / Johnson Controls International / Eaton / QAD / Raytheon Technologies / Rolls-Royce / ABB / Abbott Products Operations AG / AeroVironment / Ansell Healthcare Inc / BAE / Baker Hughes GE / Beam Suntory / Boehringer Ingelheim / Bourouge Pte Ltd / Carlisle Interconnect / Chemonics / Ciena / Comcast / Cornerstone Building / rands / Corteva Agriscience / Crown Equipment / Dell Inc / Deloitte / Edgewell Personal Care / Edwards Lifesciences Corp. / Efeso Consulting / Ericsson / Federal Ministry of Health - Nigeria / F. Hoffman-La Roche / Gehr Industries / General Dynamics Corporation / General Motors / GlaxoSmithKline / Google Inc. / IBM Corporation / Infineon Technologies AG / Llamasoft / Lockheed Martin Corporation / Lonza / McCormick & Company / MilliporeSigma / Ministry of Health - Kenya / MTN / Nokia / Nouryon / Novartis / Petroleo Brasileiro Petrobras SA / Plexus Corp / PolyOne / PwC / Regeneron / Pharmaceuticals / Saudi Aramco / Scania AB / S.C. Johnson & Son, Inc. / Sibanye Stillwater / Smiths Group / Smiths Medical / South African National Department of Health / Spectrum Brands / Sulzer AG / TE Connectivity / Weir Slurry Group Inc. Corporate / Whirlpool Corporation / WL Gore & Associates

# APICS提供の自習用教材

## ■ APICS提供の自習用教材（英語教材）

各試験に対応した学習教材（Learning System）が提供されています（すべて英文）。紙のテキストと1年間アクセス有効のウェブ上の模擬試験などにより、自習を進めることができます。米国ASCMのサイトで直接お買い求めいただいたり、同じものを日本生産性本部を通じて日本円で購入することが可能です。また日本独自の商品として、日本語の対訳版APICS Dictionary（サプライチェーンマネジメントの用語集）も販売しています。



## ■ 学習方法と学習期間の目安

Learning Systemに含まれるテキストを読み、1年間アクセス可能なオンラインの模擬問題に取り組んでいただきます。この模擬問題の9割程度が理解できることが受験の目安とお考えください。CPIM Part 1の場合は概ね1~2か月、50時間が学習期間の目安です。CPIM Part 2は、その3倍が目安です。またCLTDとCSCPは1科目ですが6か月~1年が学習期間の目安とお考えください。受験者の方のご経験分野など、個人差によるところも大きいことご承知おきください。さまざまな方の合格体験記を公開しておりますので、ご参考にください。<http://apics.jp/testimony/>

## ■ 合格率と学習に必要な英語力

絶対評価の試験で合格率は60%程度です。模擬問題をこなせば合格ラインに達することができます。全体の合格率は好評されています。<https://www.apics.org/docs/default-source/certification/apics-exam-pass-rate-report.pdf>

試験問題はすべて英語ですが、それほど高い英語力は要求されません。むしろAPICSの専門用語を習熟することで合格に近づくことができます。おおむねTOEIC600点を超えている人であれば十分挑戦できます。

# APICS活用例

MBAコースに通う社会人大学生ですが、仕事ではサプライチェーンに携わる業務を担当しています。今回、サプライチェーン全体にわたる理解を深めるために、CSCPの勉強を始めようと思っています。CPIMとは違い、一度の試験に合格すれば資格取得できるのも魅力です。韓国などでは、グローバル企業への就職のために取得する人もいと聞いています。自分の知識を広めたり体系化するとともに、キャリアアップにつながることも期待しています。（Aさん）

ERPシステムを海外も含めた拠点で使用しており、当社でも導入してから数年が経過しています。しかし、ERPシステムの生産計画・購買・資材関連などの機能を十分に活用できていない状態で、もう一度基本からトレーニングを実施する予定をしています。そしてそのERPのトレーニングの前に、APICSのCPIM Part1教材を活用して研修を実施しました。システムに依存しないMRPやMaterials Managementのコンセプト・仕組みの理解を深めることができたと感じます。（Bさん）

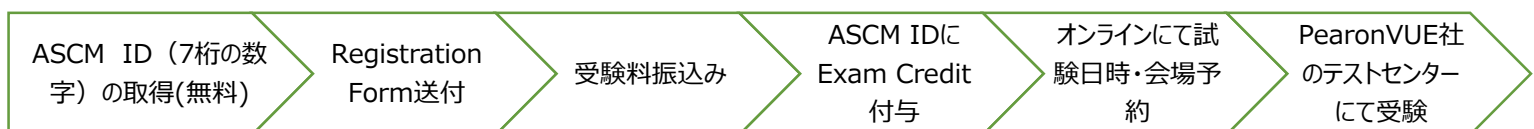
当社ではS&OPのグローバル展開にあたって、言葉の定義の共通化の必要性を痛感するなかで、APICS Dictionaryの対訳版は、SCMに関連する幅広い分野をカバーして、グローバルで標準化した定義が日英表記されているため、日本本社と海外支社との認識共有に、非常に役に立っています。（Cさん）

## ■ その他関連利用例

外資系企業のなかには、サプライチェーンマネジメントに関連する職種でのマネジャーの方にAPICS資格を推奨している会社もあります。

海外では、新規の人材募集に際し、採用条件に、所持していると望ましい資格としてAPICSが挙げられる場合があります。LinkedInなどで、APICSのコミュニティなどが見られます。

# APICS受験申込の流れ



■ APICSを学ぶことにより、海外とのやり取りでSCM関連の用語を統一することができます。部門間の連携も増します。今日では、製品もサービスも、原料調達から消費市場までグローバルな広がりをもったサプライチェーンに依存して成り立っています。その製品やサービスには「グローバル市場に対応した標準化に即していること」が求められますが、それと同じように、個人についても世界の人たちと「共通言語によるコミュニケーション能力」を持っていることが重要になります。日本でよく使われている「和製英語」が通じなかったり、海外の一般的な言い方が日本では使われていなかったりする例は沢山あります。また、同じ言葉が企業間や、企業の中の部門によって異なった内容を意味することもしばしば経験します。サプライチェーンは異なった組織や国をまたがって共通の目的のために働く仕組みですから、効果的で効率的なサプライチェーンを構築して、運営していくためには、組織間で共通な知識体系を保有していることが必要であり、共通の用語がその基盤となります。

■ 業務知識の体系的な整理ができ、国際資格取得も視野に入る従業員のモチベーションが向上します。ひとくちにサプライチェーンマネジメントといっても、非常に幅広い領域が対象となります。経験豊富な実務家の方でも、その領域すべてを経験されていることは少ないのが実際です。また、日々のオペレーションに追われる中で、なかなか業務の位置づけを理解できなかったり、全体像を見失わないようにすることが難しいのも現実です。このAPICSの知識体系は、世界中で使用されている、基礎的かつ、体系的なものです。そして世界でサプライチェーンマネジメントに携わるProfessionalとして認知されている本資格を取得することにより、海外工場や海外拠点、あるいは海外取引先との信頼関係構築やスムーズな業務が期待できます。これからのサプライチェーンの専門家を目指して、国際的に広く認められている世界標準の知識体系の習得にチャレンジされてはいかがでしょうか。

## APICS紹介セミナー（動画）公開中

APICSの資格や教育について説明し、また取得した方が(1)取得するきっかけ、(2)学習方法、(3)その後の状況をお話する、紹介セミナーを不定期に開催しています。またその動画を公開しています。

【受講者の声】「社内のSCMメンバーの教育に活用したい」「自分は体系的な知識がないように感じるので学習していきたい」「受験する決心がつきました」「疑問点を質問する機会が得られてよかったです」

■ よくあるご質問

こちらも併せてご覧いただければ幸いです。<http://apics.jp/faq/>

まずはホームページをご覧ください！

apics.jp

（公財）日本生産性本部

コンサルティング部

東京都千代田区平河町 2-13-12